

深浦は第二のふる里

山谷芳弘

二十代教師として八年間深浦に住んでいたが、私にとって深浦は実に思ひ深い町であり、勝手に第二のふる里だと決めている。

深浦の海を見たのは小学校の遠足が初めてであつた。つがる市の水田地帯に生まれ育った私にとって、あの海の広がり、と輝きは、こゝも日本か、そんな衝撃を受けた一瞬であつた。そんな町への赴任だったから、汽車の中で立ったり座ったり車窓に展開する海の風景に、ただただ心が躍っていた。深浦駅に降りて大きく深呼吸して深浦生活の一步を踏み出す。

折、信じがたい事が起きたのである。朝、早速奥さんに話したところ、なんかの形でちゃんと知らせてくれますからね」とここにこ顔で話してくれ

たが、私には初めての経験。今でも忘れられない不思議な出来事の一つであつた。

また船作小時代の熊動も忘れられない一つ。朝学校へ行ったら駅近くのI君が、先生、夕べ家の窓サ熊がのび上がったんだ」と話してくれ

たが、まさか駅近くでと

思っていたが、何と十時ごろ熊がハンターに撃たれ海に落ちたという情報

が学校に入った。

帰り、駅の助役さんも

ホームから線路横切る熊を見た話してくれ、とにかくあちこちで熊騒動が話題になった年であつた。

船作では灯台下の海で、夜、懐中電灯をつけながら岩のシタタミを手でひつかき落とすように捕ったのも忘れられない。茹でてから縫い針にくるくる回しながら肴にしたビールは絶品であつた。



やまや・よしひろ 1936年つがる市(旧柏村)生まれ。北海道学芸大(現北海道教育大)卒。61、62年全日本クレパス画展特選受賞。81年旧西ドイツで個展を開いて以来、ドイツとの交流は30年以上。ほかにヨーロッパ、インド、ネパール、中央アジアなどにスケッチ旅行を重ねる。82年県芸術文化奨励賞受賞、08年画業50年記念「山谷芳弘の世界展」を青森市で開催。国内で個展多数。

今、その場所是不老不死温泉。人気上昇中で、全国区としての賑わいである。

思えば走馬灯のように深浦での思い出は懐かし

くつきない。

深浦の町章が私のデザインであるが、記念にいただいたバッチを第二のふる里の証として今も大事にしている。

安美錦関 (伊勢ヶ濱部屋)の近況報告

平成二十八年、東前頭筆頭で迎えた初場所(一月)は、三日目の鶴竜戦で三十七歳幕内最年長で金星を獲得するもインフルエンザで休場するなど六勝八敗一休に終わり、春場所(三月)では七勝八敗と惜しくも勝ち越しを逃しました。

四月現在は春巡業で多忙な日々を送っています。

大相撲五月場所は五月八日が初日でケツパレ安美錦。

深浦町出身の先輩の職場を訪問

深浦中学校 校長 齋藤仁志

近年、子どもたちが社会的・職業的に自立するために必要な能力や態度を育てることを目的として、学校教育活動の中でキャリア教育の重要性が叫ばれております。深浦町立深浦中学校では、一学年と三学年の生徒たちが、地域の事業所のご協力の下、三日間の職場体験活動を行っています。

その職場体験を通して、生徒たちの勤労観や職業観の育成を図り、地域の理解も深めることにつなげています。

また、昨年度は深浦会東京の役員の皆様にご尽力いただき、二学年の生徒が東京への修学旅行の中で九月三〇日に先輩の職場訪問を実施することができました。

訪問先は、大成設備(株)、松尾建設(有)、ライフサポート(株)、大森



工藤幹事の職場にて【大森消防署】



伊藤幹事の職場にて【(株)フォトロン】

消防署、(株)フォトロンの五箇所でした。

朝ホテルを出て、引率教師とともに各事業所に向かいました。各グループで深浦出身の先輩が働いている職場を訪問し、職場を見学させていただいたり、仕事に関する説明を聞いたりすることができました。

生徒たちは、「深浦出身の先輩の話聞くことができてためになった。」「忙しい中なのに自分たちのために時間を割ってくれてありがたかった。」「自分も先輩たちのように将来東京で仕事をするかもしれないと考えることができた。」「という感想に見られるように、将来の自分をイメージすることや、先輩のありがた

は、九月二十七日(火)〜三日(金)で決定しております。職場への訪問は九月二十八日(水)の九時三〇分〜一〇時までの間で、三〇分〜四十五分を目安と考えております。深浦出身の皆様方のご理解、ご協力を何卒、お願い申し上げます。若手の方も大歓迎です。訪問受け入れが可能な方は、ぜひご連絡をお願い致します。

(お問い合わせ先)

●深浦町立深浦中学校

○一七三二七四一〜二〇五四

◆深浦会東京事務局

○三三三二四一〜三三三二四四

*齋藤校長は、四月の人事異動で稲垣中学校に転任になりました。後任には吉田英人が校長として着任いたしました。

平成28年度深浦町の主な観光関連イベントの開催日程

開催予定日	イベント内容
平成28年 4月14日(木)	●白神十二湖山開き(安全祈願祭) 白神山麓の麓「十二湖」を訪れる観光客の安全祈願と、深浦の観光スタートをPRするイベント
5月21日(土)	●新緑「春の33湖」めぐり 新緑の十二湖地内、33湖の湖沼を巡るトレッキング
7月~9月	●青森県・函館デスティネーションキャンペーン 北海道新幹線開業を祝し、北海道から九州までのJR6社が地元観光関係者や自治体と協力し、全国の旅行会社等の協力を得ながら、全国にその青函地域を旅行先としてPRする国内最大級の観光キャンペーン。当町でも期間限定のキャンペーンを実施予定
7月13日(水)	●夕陽海岸ふかうら海開き安全祈願祭 夕陽海岸を訪れる観光客の安全祈願
7月24日(日)	●深浦マグロ料理グランプリ2016 創作マグロ料理をご来場の皆様にお召し上がりいただき、投票によりグランプリを決定
8月14日(日) 15日(月)	●津軽風待ち湊ふかうらヤットセ 浴衣の着用と深浦小唄の総踊りを柱とした真夏のイベント
10月15日(土) 16日(日)	●第31回津軽深浦チャンチャンまつり 豪快な鮭の鉄板焼き
10月22日(土)	●紅葉「秋の33湖」めぐり 紅葉の十二湖地内、33湖の湖沼を巡るトレッキング
11月10日(木) ~30日(水)	●日本一のダイチョウライトアップ「ビッグイエロー2016」 国指定天然記念物「北金ヶ沢の大イチョウ」をライトアップする、迫力の黄葉美!
平成29年 2月4日(土) ~25日(土)	●第23回グルメ in ふかうら 真冬の日本海で水揚げされた鮮度抜群の食材の数々や地酒を堪能

(深浦町観光課)

事務局から

1. 年会費納入のお願い

年会費を未納の方は大変申し訳ございませんが、平成28年度分の年会費2,000円のお振込みをお願い致します。昨年度は160名余の方からお振込みを頂いております。振込手数料は当会が負担致します。

尚、総会・交流会にご出席の方は、今回、振込用紙を同封しておりますが、振り込まないで、当日会場にてお支払いをお願い致します。

詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

2. 「広報ふかうら」購読申し込みご希望の方へ

深浦町で毎月発行しております。ふるさとの情報がいっぱい会員には大好評です。購読希望の方は年間購読料2,000円(送料込)をお振込み下さい。振込手数料は当会が負担致します。

尚、既に今年度分(平成28年度分)の購読を申込済の方は、今回、振込用紙を同封しておりますが振り込まないようにして下さい。

詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

3. 会員名簿の整理を進めております

宛先の住所、氏名等に間違いがある方は、申し訳ありませんが、事務局までご連絡をお願い致します。

【事務局(松尾)：電話 03(3418)0914】

4. 名簿提出のお願い

同期会、同窓会等の名簿がありましたら、皆様にご案内を致しますので、事務局までお送り下さい。

計報

深浦会東京 副会長

福澤久夫氏

(ふくざわ・ひさお
関出身)

病氣療養中のところ
昨年(三月三〇日)逝
去されました。

享年七十五歳。

ここに慎んで哀悼の
意を表するとともに

に、衷心よりご冥福
をお祈り申し上げます。

連絡先
深浦会東京事務局